SuMPO EPD JAPAN VERIFIED

SuMPO環境ラベルプログラム (SuMPO EPD)

Third party verified

Environmental Product Declaration

In conformance with

ISO14025 | ISO14040 | ISO14044

sangetsu

株式会社サンゲツ

Sangetsu Corporation

NT-2850 D-eco フローライン　D

NT-2850 D-eco FLOW LINE　D



登録番号	検証合格日	公開日	検証有効期間	EPDタイプ
SuMPO-EPD-2605-145-1	2026/10/27	2026/10/29	2031/10/26	単一製品EPD

※更新された場合は初版公開日

追加の準拠規格

ISO21930：2007

EPDは検証期間であっても、更新または公開が中止となることがあります。
EPDの最新版および有効性を確認するには以下を確認してください。
https://ecoleaf-label.jp/epd/search

Environmental Product Declaration for NT-2850 D-eco FLOW LINE D

●基本情報

＞プログラム情報

プログラム名称	SuMPO環境ラベルプログラム
プログラムオペレーター	一般社団法人サステナブル経営推進機構
所在地	東京都千代田区内神田1-14-8 KANDA SQUARE GATE 4F
ウェブサイト	https://ecoleaf-label.jp

＞GPI・PCR情報

GPI	SuMPO EPD Japan General Program Instructions v.2.2.0
PCR名称	タイルカーペット
PCR登録番号	PA-821000-AN-05
PCR認定日	2023/05/10
レビューパネル委員長（所属）	神崎 昌之
PCR有効期限	2028/05/09
PCR発行者	一般社団法人サステナブル経営推進機構

＞検証情報

検証の種類	ISO14025及びISO21930:2007に従った第三者検証		
	□ 内部	■ 外部	
	■ 検証員による第三者検証	□ 検証機関による第三者検証	□ EPDシステム認証による第三者検証
検証実施者（所属）	内藤壽夫（内藤技術士事務所）		

＞準拠規格

準拠規格	■ ISO14040:2006	■ ISO14044:2006	□ ISO14067:2018
	■ ISO14025:2006	■ ISO21930:2007	□ ISO21930:2017
	□ EN15804+A2	□ EN50693:2019	□ ISO/IEC63366:2025

EPDに記載の情報及びEPDに記載の情報に関する環境主張についての責任はEPD取得事業者が持ちます。EPDの内容に関するご不明点、確認事項については、EPD取得事業者までお問い合わせください。

EPDの比較は、建設製品の機能を十分に考慮した上で実施されなければならないため、建設製品における建材のライフサイクル全体を考慮し、建設製品において同等の用途を想定したシナリオを適用している必要があります。EPDの比較の際に考慮すべき条件は本宣言が使用するPCRを参照してください。
EPDの比較可能性は、機能単位を適用しているものに限定されます。

環境影響評価結果はあくまで相対的な数値です。数値の大きさにより環境への影響を一概に結論づけられるものではありません。また、算定した数値は環境への具体的な影響の大きさや安全性（閾値を超過しているか等）、リスク評価（環境や人間にどれだけの影響を及ぼすか等）を直接示すものではありません。
加重平均を用いた算定の場合、ライフサイクル影響評価結果及びライフサイクルインベントリ分析関連情報、廃棄物関連情報、出力フローに関する環境情報は、特定の製品についての情報ではありません。

●EPD取得事業者情報

事業者名・部署名（日・英）	株式会社サンゲツスペースプランニング部門
住所	東京都品川区東品川3-20-17
問い合わせ先	0570-003-310
LCA算定実施者（所属）	TCO2株式会社
事業者概要	資本金：136億1,610万円 業態：インテリアの企画・開発・製造・販売・施工、エクステリアの販売・施工 各種施設・オフィス空間等の企画・設計・工事監理・施工

Environmental Product Declaration for NT-2850 D-eco FLOW LINE D

●製品情報

製品名称（日・英）		NT-2850 D-eco フローライン D		
製品の型式		NT-2850 D-eco		
製品仕様	製品機能	タイルカーペットの提供		
	製品質量	1.1±0.05 kg	換算係数	4.4 kg/m2
	製品の用途	建築の内装として床面に敷いて使用する		
	技術性能	見本帳・デジタルカタログの記載に準ずる。		
耐用年数	年数	7年		
	使用条件	なし		
	年数を設定した根拠	PCRより		
製造サイト（製造拠点）		長谷虎紡績株式会社、日本絨毯株式会社 本社工場		
製品概要		製品重量　1.1±0.05 kg 全厚　6.8±0.5 mm サイズ　500 mm×500 mm 素材　パイル：ナイロン(リサイクル) バッキング：PVC(バージン、リサイクル) 基布：PET 製造サイト　長谷虎紡績株式会社、日本絨毯株式会社 本社工場 想定使用期間　7年		
製品ウェブサイト		https://www.sangetsu.co.jp/product/detail/NT28501/		

●材料及び物質に関する構成要素

製品構成要素	割合 (%)	質量	
パイル（リサイクル糸）	13.0	0.15	kg
PET基布	1.8	0.02	kg
PVC（バージン）	9.3	0.11	kg
可塑剤（フタル酸エステル）	8.3	0.10	kg
炭酸カルシウム	34.1	0.39	kg
ガラス不織布	0.9	0.01	kg
再生PVCシート	32.4	0.37	kg
染料	0.0	0.00	kg
均染剤①	0.1	0.00	kg
均染剤②	0.0	0.00	kg
酢酸80%	0.0	0.00	kg
包装材構成要素	割合 (%)	質量	
梱包材（段ボール）	100.0	0.03	kg

●生物由来炭素含有量

項目	含有量 (kg-C)	含有量 (kg-CO_2 eq)
製品あたりの生物由来炭素含有量	–	–
提供先にわたる包装資材の生物由来炭素含有量	–	–

●LCA 関連情報

＞EPDタイプ情報

EPDタイプ	製品タイプ	■ 単一製品	□ グループ製品	□ 業界製品
	サイトタイプ	□ 単一サイト	■ 複数サイト	
地理的範囲		全世界		
複数製品/複数サイトを含むEPDにおける代表性の説明		全サイトから収集したデータを使用している。		
複数製品/複数サイトを含むEPDにおける、算定結果の上下幅に関する説明		製造拠点は2つだが、製造工程を分けているものであるため算定結果に差異はない。		
複数製品EPDの説明		–		

＞LCA関連情報

宣言単位		タイルカーペット1枚あたり		
宣言単位当たりの質量（質量への換算係数）		1.1 kg		
基準フロー（機能単位を満たすために必要な製品数）		–		
システム境界		□ Cradle-to Gate	■ Cradle-to-Gate with options	□ Cradle-to-Grave
LCAソフトウェア		クラウドサービスMiLCA version: 1.2.3.1		
LCIデータベース		AIST-IDEA ver. 3.5.1		
特性化モデル		気候変動：IPCC第6次評価報告書（IPCC,2021年）、その他の影響領域：LIME2		
その他のバックグラウンドデータ		ECONYL® インターミングル糸（SuMPO-EPD-2608-242-2）		
二次データ品質		GPIに規定の二次データ品質を満たしたデータを用いて算定を行った。		
一次データ収集拠点		長谷虎紡績株式会社、日本絨毯株式会社 本社工場		
一次データ収集期間		2024年4月～2025年3月		
生物由来炭素の取り扱い		□ 0/0アプローチ	■ -1/+1アプローチ	
電力契約に関する情報	使用有無	■ 国や地域の平均的な電力ミックス	□ その他	
	種類	特別高圧電力 B		
	購入日	2024年4月～2025年3月		
	発行元	中部電力株式会社、関西電力株式会社		

＞算定対象段階

資材製造段階			施行段階		使用段階							解体段階				境界外
					資材関連					光熱水関連						
A1	A2	A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
原材料の調達	工場への輸送	製造	現場への輸送	施工	使用	維持保全	修繕	更新	改修	エネルギー消費	水使用	解体・撤去	廃棄物の輸送	中間処理	廃棄物の処理	潜在的な負荷と便益
■	■	■	■	–	–	–	–	–	–	–	–	–	■	–	■	–

■ ：算定対象　– ：算定対象外

＞アロケーション

どの製造プロセスにおいてもタイルカーペットのみが製造されるため、アロケーションは実施していない。

＞カットオフ

カットオフは実施していない。

＞システム境界

PCRに基づき設定した。使用段階はPCRに基づいて対象外としている。

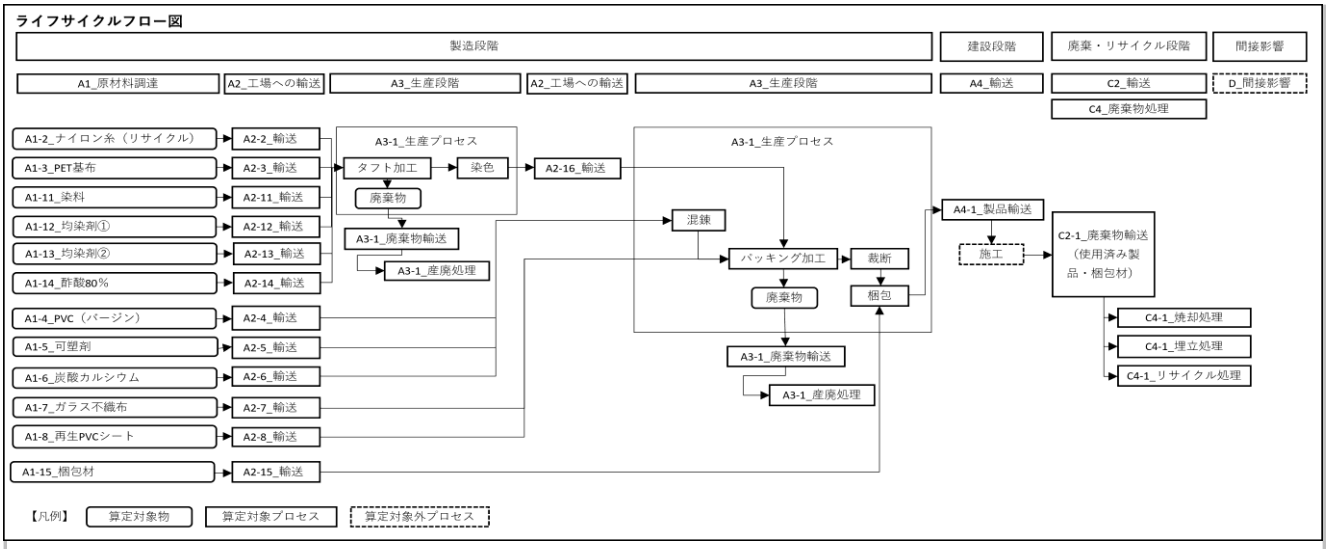
＞シナリオ

モジュール	説明
A2	原材料の輸送段階については輸送手段に限りPCRのシナリオを使用した。
A4	製品の輸送段階についてはPCRのシナリオを使用した。
C4	廃棄段階はPCRシナリオに基づき、使用後製品の80%を埋立、20%をリサイクルとして算定した。

＞電力モデリング

対象とする全てのライフサイクル段階において、2022年における日本平均の電力のデータを用いて算定を行った。

＞ライフサイクルフロー図



●算定結果

＞ライフサイクル影響評価結果

		資材製造段階				施工段階		使用段階							解体段階				境界外
								資材関連					光熱水関連						
		A1	A2	A3	A1-A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
気候変動 - 合計	kg-CO_2eq	2.00E+00	9.08E-02	3.76E-01	2.46E+00	2.28E-01	–	–	–	–	–	–	–	–	–	9.04E-02	–	2.88E-01	–
気候変動 - 化石由来	kg-CO_2eq	2.03E+00	9.06E-02	3.76E-01	2.50E+00	2.28E-01	–	–	–	–	–	–	–	–	–	9.02E-02	–	2.48E-01	–
気候変動 - 生物由来	kg-CO_2eq	-3.48E-02	1.73E-05	7.58E-06	-3.47E-02	4.37E-05	–	–	–	–	–	–	–	–	–	4.93E-06	–	4.02E-02	–
気候変動 - 土地利用及び改変	kg-CO_2eq	2.02E-03	9.35E-05	1.62E-04	2.28E-03	2.35E-04	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1.76E-04	–	3.04E-04	–
オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	9.25E-08	1.10E-12	6.56E-10	9.32E-08	2.76E-12	–	–	–	–	–	–	–	–	–	6.76E-13	–	5.21E-10	–
富栄養化	kg-PO_4^{3-}-eq	2.20E-04	4.22E-10	4.17E-08	2.20E-04	1.06E-09	–	–	–	–	–	–	–	–	–	3.71E-10	–	6.48E-08	–
酸性化	kg-SO_2eq	1.94E-03	1.29E-04	2.25E-04	2.30E-03	3.24E-04	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1.24E-04	–	2.88E-04	–
光化学オキシダント生成	kg-C_2H_4eq	5.94E-05	8.61E-07	1.95E-06	6.22E-05	2.17E-06	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2.28E-06	–	2.98E-06	–
追加オプションのライフサイクル影響評価指標																			
非生物資源枯渇 - 鉱物	kg-Sbeq	1.97E-05	3.80E-10	7.57E-07	2.04E-05	9.57E-10	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2.10E-10	–	1.24E-06	–
気候変動 - 航空機輸送	kg-CO_2eq	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

＞ライフサイクルインベントリ分析関連情報―一次資源の使用に関する指標

		資材製造段階				施工段階		使用段階							解体段階				境界外
								資材関連					光熱水関連						
		A1	A2	A3	A1-A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
再生可能一次資源 - エネルギー（RPR_E）	MJ	5.30E+00	5.71E-04	1.47E+00	6.77E+00	1.44E-03	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2.34E-04	–	2.50E+00	–
再生可能一次資源 - エネルギー含有材料（RPR_M）	MJ	5.29E-02	8.58E-07	6.69E-05	5.29E-02	2.16E-06	–	–	–	–	–	–	–	–	–	8.25E-07	–	9.60E-05	–
非再生可能一次資源 - エネルギー（$NRPR_E$）	MJ	2.35E+01	9.98E-01	6.71E+00	3.12E+01	2.51E+00	–	–	–	–	–	–	–	–	–	9.99E-01	–	6.73E+00	–
非再生可能一次資源 - エネルギー含有材料（$NRPR_M$）	MJ	5.25E+00	3.79E-06	2.71E-03	5.25E+00	9.55E-06	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2.34E-06	–	3.73E-03	–

＞ライフサイクルインベントリ分析関連情報―二次資源の使用に関する指標

		資材製造段階				施工段階		使用段階							解体段階				境界外
								資材関連					光熱水関連						
		A1	A2	A3	A1-A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
二次材料	kg	2.95E-02	3.72E-07	1.88E-04	2.97E-02	9.36E-07	–	–	–	–	–	–	–	–	–	3.27E-07	–	3.18E-04	–
再生可能二次燃料	MJ	1.40E-01	2.42E-07	3.47E-05	1.40E-01	6.09E-07	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1.28E-07	–	6.13E-05	–
非再生可能二次燃料	MJ	9.02E-02	1.49E-06	1.71E-04	9.04E-02	3.75E-06	–	–	–	–	–	–	–	–	–	5.39E-07	–	3.36E-04	–
回収エネルギー	MJ	5.78E-02	9.37E-06	2.61E-02	8.39E-02	2.36E-05	–	–	–	–	–	–	–	–	–	3.36E-06	–	4.45E-02	–

＞ライフサイクルインベントリ分析関連情報―非生物資源-化石燃料、淡水の消費量

		資材製造段階				施工段階		使用段階							解体段階				境界外
								資材関連					光熱水関連						
		A1	A2	A3	A1-A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
非生物資源枯渇-化石	MJ	2.87E+01	1.23E+00	5.95E+00	3.58E+01	3.10E+00	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1.24E+00	–	3.42E+00	–
淡水の消費	m^3	2.62E-02	4.71E-05	1.81E-04	2.65E-02	1.18E-04	–	–	–	–	–	–	–	–	–	4.68E-05	–	1.94E-03	–
追加オプションのライフサイクルインベントリ分析結果																			
焼成による排出と中性化からの吸収	kg-CO_2eq	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	–	–	–	–	–	–	–	–	–	0.00E+00	–	0.00E+00	–

＞廃棄物関連情報

		資材製造段階				施工段階		使用段階							解体段階				境界外
								資材関連					光熱水関連						
		A1	A2	A3	A1-A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
有害廃棄物	kg	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	–	–	–	–	–	–	–	–	–	0.00E+00	–	0.00E+00	–
無害廃棄物	kg	3.22E-02	8.13E-05	4.39E-02	7.62E-02	2.05E-04	–	–	–	–	–	–	–	–	–	4.07E-05	–	1.14E+00	–
高レベル放射性廃棄物	㎥	7.62E+00	1.40E-15	3.52E-12	7.62E+00	3.54E-15	–	–	–	–	–	–	–	–	–	6.30E-16	–	6.00E-12	–
中および低レベル放射性廃棄物	㎥	1.13E-03	1.46E-12	3.59E-09	1.13E-03	3.68E-12	–	–	–	–	–	–	–	–	–	6.38E-13	–	6.11E-09	–

＞出力フローに関する環境情報

			資材製造段階				施工段階		使用段階							解体段階				境界外
									資材関連					光熱水関連						
			A1	A2	A3	A1-A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
再利用可能な部品		kg	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
リサイクル用材料		kg	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
エネルギー回収用材料		kg	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
廃棄物からの排出エネルギー（エネルギー回収効率≧60%）		MJ	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
廃棄物の焼却（エネルギー回収効率＜60%）	廃棄物焼却処分量	kg	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	回収エネルギー	MJ	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
廃棄物の埋立て（廃棄物の埋立てにより発生する埋立ガスからのエネルギー回収）	廃棄物埋立処分量	kg	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	回収エネルギー	MJ	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

＞LCA算定結果に関する説明

製品重量　1.1±0.05 kg/枚
全厚　6.8±0.5 mm
サイズ　500 mm×500 mm
素材　パイル：ナイロン(リサイクル)
　　バッキング：PVC(バージン、リサイクル)
　　基布：PET
製造サイト　長谷虎紡績株式会社、日本絨毯株式会社 本社工場
想定使用期間　7年
輸送シナリオについてはPCRに従い算定した。PCRに基づき使用段階は算定に含まれていない。

●追加環境情報

＞LCAに関連しない追加環境情報

–

＞有害物質に関する情報

有害物質名	CAS No.	適用される基準または規制の参照
–	–	–
–	–	–
–	–	–

建材および建設製品からの危険物質の放出
–

●用語の定義

–

●参考文献

・ISO14025:2006 Environmental labels and declarations — Type III environmental declarations — Principles and procedures
・ISO14040:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Principles and framework
・ISO14044:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Requirements and guidelines
・ISO21930:2007 Sustainability in buildings and civil engineering works — Core rules for environmental product declarations of construction products and services

●改訂履歴

–